

#### 4-7 伊豆半島におけるラドン観測 (XVIII) Radon Observation in the Izu Peninsula (XVIII)

東京大学大学院理学系研究科  
Graduate School of Science, The University of Tokyo

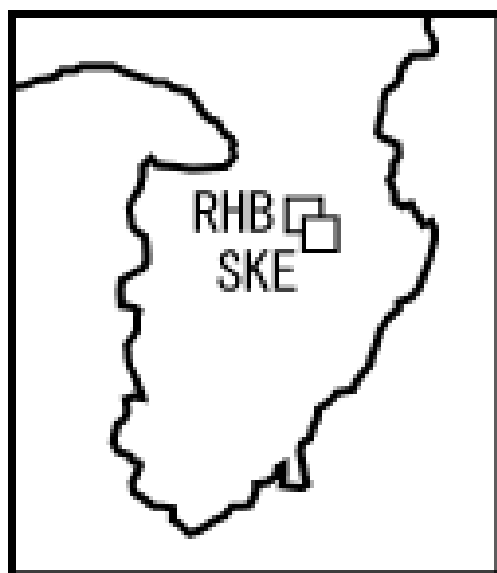
前報<sup>1)</sup> に引き続き，伊豆半島における地下水のラドン濃度の連続観測結果（1999年11月～2001年5月）を報告する。

観測点は，第1図に示す中伊豆第1（SKE），中伊豆第2（RHB）の2地点である。第2図は，各観測点における，1時間毎のラドン濃度（積算値）の24点移動平均値の時系列である。図の右上には，1997年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

SKEのラドン濃度は観測期間中ほぼ一定である。RHBでは，例年夏季に比べて冬季のラドン濃度は低く，変動も大きい。

#### 参 考 文 献

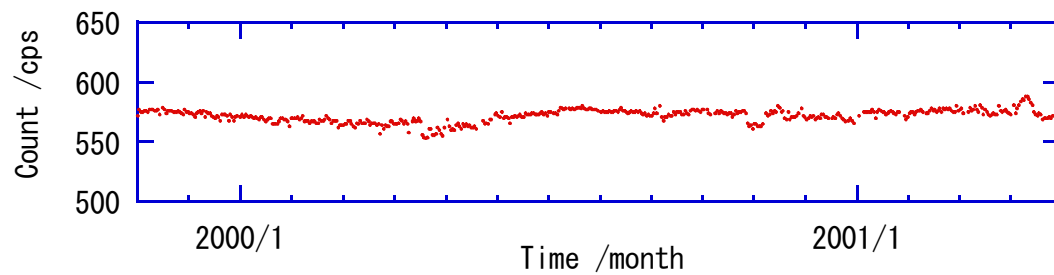
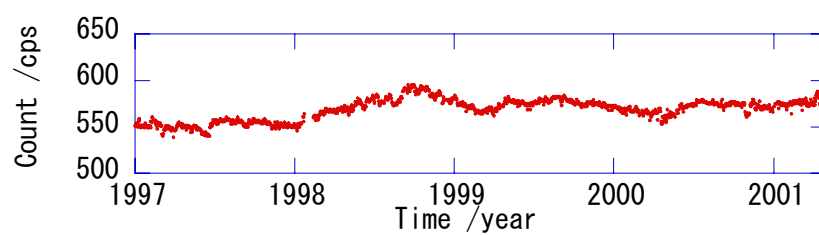
- 1) 東京大学大学院理学系研究科：伊豆半島におけるラドン観測（XVII），連絡会報，64（2000），207-208.



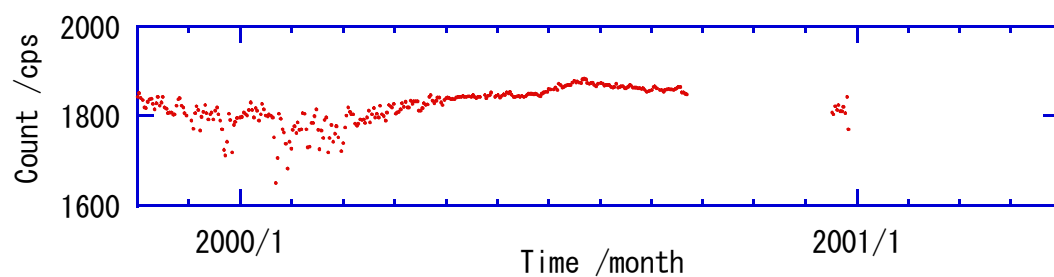
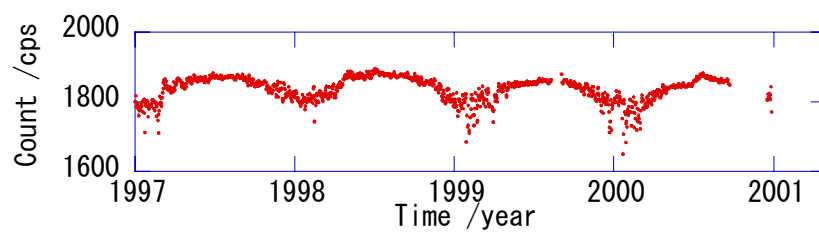
第1図 伊豆半島の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Izu Peninsula.

SKE



RHB



第 2 図 SKE、RHB における地下水のラドン濃度変化

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in ground water at SKE, RHB. The data are 24-hour moving average value.